

【別紙様式】

<p>釜石市は、新型コロナウイルス感染症への対応として、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用し、制度要綱に定める交付対象事業の要件「新型コロナウイルスの感染拡大の防止及び感染拡大の影響を受けている地域経済や住民生活の支援を通じた地方創生に資する事業」に該当する以下の事業を実施します。</p>			
事業名	三陸鉄道運営支援事業		
総事業費 (千円)	12,332千円	交付金関連事業費 (交付対象経費) (千円)	12,332千円
事業概要	<p>①目的 新型コロナウイルス感染症の影響による利用者の減少や燃料費の高騰等、厳しい経営環境にある中であって、岩手県沿岸地域の基幹的な地域交通として、減便等することなく輸送サービスの提供を継続している三陸鉄道に対し、安定的な運行を確保することを目的に、運行維持に要する経費を支援する。</p> <p>②交付金を充当する経費・算定根拠 人件費や内燃動力費など三陸鉄道の運行維持経費として負担金を交付する。 なお、釜石市のみならず、岩手県や沿線市町村が費用を按分して交付する。 負担金（釜石市負担分） 12,332千円</p> <p>③交付対象 1) 交付対象者 三陸鉄道株式会社 2) 交付対象者の選定理由・選定方法 三陸鉄道は、岩手県沿岸地域の基幹的な地域交通であり、地域住民の生活の足として、さらには当地域を訪れる観光客の移動手段、観光資源の一つとして機能している。しかしながら、近年は新型コロナウイルス感染症の影響で、観光を中心とした団体客、個人客の利用が大幅に落ち込んだことに加えて、燃料費の高騰も追い打ちとなり厳しい経営状況にあることから、運行事業者である三陸鉄道株式会社に対して、負担金を交付する。</p> <p>④期待される効果 三陸鉄道の運行継続により、通院、通学、買い物など地域住民の生活基盤が確保され、当地域の住民の暮らしが守られるだけでなく、新型コロナウイルス感染症の5類移行により回復が期待される観光目的での利用促進による交流人口の拡大など、低迷する地域経済の回復、再興が期待される。</p>		
新型コロナウイルス感染症への対応（経済対策）との関係	<p>三陸鉄道の運行停止は、三陸沿岸地域の住民の生活のみならず、観光面など地域経済にも多大な影響を及ぼすことから、地域公共交通の維持存続、新型コロナウイルス感染症の影響で落ち込んだ観光需要の喚起及び誘客促進による地域経済の活性化を図る観点から、運行事業者である三陸鉄道株式会社に負担金を交付するものであり、事業者支援並びに地方創生に資するものとして地方創生臨時交付金を活用することが妥当である。</p>		